美術館の新たなサービスを発想しよう！

time

～15:38

いそざきさん
京都 BtoB

まつもとさん
ふくおか webディレクター

あけさん
ふくおか UIUX、スマホアプリ
ディレクター

ステップ1
カードを選ぶ

条件 主体 活動 対象 価値

好きな言葉を書き込んで、気になるカードを作ってもいいですよ。

miroに招待するのは難しかった！

気付きノート

美術館に実際に来ている人たちの他にも、様々な「潜在的ユーザー」がいる可能性に気づきました。（石橋）

気づいたことを自由メモしてください。最後に発表の時間もあります（石橋）。

一つに絞っていきますか？

価値を具体化していこうか

左の方にあるデータを利用できないか

その価値は何によって現れてくるのか？？

ステップ2
ストーリーを考える

条件 × 主体 × 活動 × 対象 = 価値

ひとつ目標にして「ここに対する」と考えてみてください。

制約に対させて考えるとやすい？
1. 時間の制約
2. 場所の制約
3. 資金の制約
4. しばらく使って取り組める内容

どんな「為」の要素があるとより「それはどうすれば解決できますか？

課題に対してどうしたら良いんだろうと悩む中学生が見える

蓋にもすがる

体験前の期待

インスタグラム?

口コミ

直後の会話

美術館でのトークでは、実際の作品、実際の絵画、実際の人工物を使うことは、ものすごく大切だと思います。ただ、それらを使うことが目的化してしまうと、ものすごく大変な事態になります。そうではなくて、それらを使って何をしたいのか、何を伝えたいのかを明確にすることが、ものすごく大切だと思います。（石橋）

関係性を深めるツールとしてGLAMが使えるのかもしれない

同じものを見る、考えかたを知る

その場で終わらない体験

気に入った作品を追跡する（あそこの美術館に行ったから一緒に旅行しよう）

違う場所で見ると違う感覚であるという発見

非日常

感動したね！という感覚の共有

何に感動したんだろう？

わからないという感覚を共有するというのもある

全体も細部もある

アートを理解している人はどれだけいるの？

「アート完全に理解した」

よくわからないことの発見

二人で考えてみる

誰でも知っている作品を二人で一緒に見れた

出会うきっかけ

きっかけとしても優秀
デートに誘いやすい

親にも説明しやすい
誠実な場っぽい

Youtubeで美術館側が情報をシェア

ステップ3
できたストーリーを保存する

美術館のカフェはスペースがないから、初期の会場はどこかのカフェのスペースでやるとか、その中間の場所を会場にするとか、ものすごくいろいろなことが起こる。ハンドメイドの作品（石橋）、ハンドメイドの作品（石橋）、ミュージックの作品（石橋）、ムーブメントのワークショップ、（石橋）。ムーブメントのワークショップ、（石橋）を通常とは別用途の為に使う、いろ使えるかも。

美術館のカフェはスペースがないから、初期の会場はどこかのカフェのスペースでやるとか、その中間の場所を会場にするとか、ものすごくいろいろなことが起こる。ハンドメイドの作品（石橋）、ハンドメイドの作品（石橋）、ミュージックの作品（石橋）、ムーブメントのワークショップ、（石橋）。ムーブメントのワークショップ、（石橋）を通常とは別用途の為に使う、いろ使えるかも。

しばらくたってから会話をするためのきっかけ

美術館で見た作品のLINEスタンプで会話

同じ作品を鑑賞したあとで価値が創出される。ストーリーありきの価値？

2人だけの秘密の共通言語

アルバムで振り返る

二人だけの特別な写真ができる

お互いの価値観がわかる

あ、こんなの好きなんだ
時間かけて見てる

お互いの反応がわかるもの？

つながりが深まるインスタレーションってどんなものだろう？

過去の記憶とリンクする

絵画の登場人物と、自分の知り合いが「もしかして？」ででてくる

最後の映像の登場人物の顔が別被生の顔に置き換わる（ユダはあいつじゃんw）

自動でフォトアルバムの人物の顔を作品の顔に置き換えて記憶してくれる相性占い

過去に見たものを記録してくれる系

この時期にこの美術館に行った→過去見たであろう作品の特定・記録

過去に見たものが近くにあるよって言われると運命感ある

関連作品の提示

作品ようも、見る人を中心にしている

DBにメタデータしかない

主観的な情報がもっとあっても良いのかもしれない

この絵のどこに注目したのか

展示自体がデジタル含めて拡張していくとか

オーディオでキャプションしてくれる

どこからみ始めれば良いのだろう

どういった背景があるのか

AI

関連作品の提示

そっくなキャラが探せる

登場人物がMBTIに振れている

現実にはみ出してる

思い出して会話しやすくなるような仕掛け

感想をいうのは難しい

自分はこう思ったんだよねと言えるなにか

美術館の空気が残っている

帰りのカフェで語ろう

カフェ併設の美術館も多いので、カフェ目的もありうる

カフェ入りにくい説もある

ちっと入りやすくできないか？

ミュージアムショップはガッツリ同線に組み込むのに

絵葉書

カフェに接続できないか？

美術館全体での体験プロデュース

写真の変わり

発売数が増えても追加コストがそんなにないので、付加価値サービスにお金を使ってもらったりが良いかも

アフター展示会

美術館全体での体験プロデュース

キュレーションの視点をインプットしたい

実用性、生産性のためのGLAM

キット的なものが売っていそう
ミュージアムショップに期待すること

最終成果

作品を見るときは、「内的」な情報

Transfer

視覚情は、人と共有しあう「外向け」の情報

埋りたいのにしゃべれない

一気に埋り出す

展示部分を見終わる

ミュージアムショップ

会話

帰る

思い出す

美術館で見た作品のLINEスタンプで会話

過去に見たものが近くにあるよって言われると運命感ある

カフェ

外のスペース

公園にカフェを持ち出すのも良いのでは、ウーバーみたいに

デジタルコンテンツの販売

閲覧しているときに、作品をブックマーク

カフェに戻って、通知してくれる

デジタル系コンテンツ

作品をモチーフにしたカフェのメニュー or グッズ

お土産

絵葉書

好きな作品だけ持って帰れる

作品の説明が欲しい

CC BY World IA Day Fukuoka